



スマートシティ・イニシアティブは2023年の支出が1895億ドルに拡大すると予測

Japan, 2019年7月16日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、世界のスマートシティ・イニシアティブに対する支出額予測を発表しました。Worldwide Semiannual Smart Cities Spending Guide による新しい予測では、世界のスマートシティ・イニシアティブに対する支出額は、2023年に1,895億ドルに達します。このイニシアティブの最優先事項は、回復力のあるエネルギーおよびインフラであり、それに続くのがデータ駆動型公共安全、さらにインテリジェントな輸送です。これらの優先分野を合わせた支出額が2019年～2023年に予想されるスマートシティ支出額全体の半分以上を占めます。

「最新版のIDC Worldwide Smart Cities Spending Guideでは、調査対象をスマートエコシステムまで拡大し、デジタルエビデンス管理と電力 / ガス対応のスマートグリッドの詳細を追加しました。さらに、都市のデータセットを拡張し、180以上の都市が含まれています」と、米国IDC Customer Insights & Analysis Group プログラムマネージャーのセレナ・ダ・ロールは述べています。また、「スマートシティの支出では、スマートグリッドとスマートメーターが大きなシェアを占めていますが、他の分野としては、インテリジェント交通制御とデータ駆動型公共安全に関連する分野やプラットフォーム関連のユースケース、およびデジタルツインにおいて、力強い成長が見られます。いずれも、世界的にスマートシティプロジェクトの中心として位置づけられて実現されることが増えています」と述べています。

予測期間全体にわたり、最大の支出額になるユースケースは、主要な戦略的優先事項と一致しています。すなわち、スマートグリッド、固定監視画像データ解析、高度化した公共交通、スマート野外照明、インテリジェント交通管制です。上記5つのユースケースは、2019年にはスマートシティ支出全体の半分以上を占めますが、2023年までにある程度減少します。5年間の予測期間で見ると、支出が急激に伸びるユースケースはV2X（Vehicle-to-Everything）接続、デジタルツイン、および警察官用ウェアラブルです。

シンガポールはVirtual Singaporeプロジェクトに牽引され、スマートシティ・イニシアティブ最大の投資を行います。総支出額で2番目に大きいのはニューヨークシティであり、東京とロンドンが続きます。北京と上海は基本的に第5位を分け合っており、両都市の支出額は2020年に10億ドルを超える見込みです。

地域別に見ると、米国、西欧、中国が予測期間にわたって、スマートシティ支出全体の70%以上を占めることとなります。日本と中東 / アフリカ (MEA) は21%前後の年間平均成長率 (CAGR: Compound Annual Growth Rate) となり、スマートシティ支出が急増します。

「IDCでは、都市のエコシステムにおけるバイヤーの投資優先順位に関して、引き続き拡大して掘り下げた予測を提供します。スマートシティ支出のデータベースに都市が追加されており、新しい予測としてスマートスタジアム、スマートキャンパスなどに今後のスマートシティの拡大を見ることができます」と、米国IDC Government Insights & Smart Cities プログラムバイスプレジデントのルスビー・エスナーは述べています。また、「調査から明らかのように、規模の順に並べた世界全体の34のユースケースで、安定した成長が見られます」と述べています。

[Worldwide Semiannual Smart Cities Spending Guide](#) では、スマートシティ・イニシアティブに関連するテクノロジーのビジネス機会について、地域別と世界全体のレベルで数値化して予測しています。9地域の支出データが5つの戦略的優先事項と8つのテクノロジーカテゴリーにわたる34のユースケースとともにご利用いただけます。さらに、Spending Guideで補完的な都市データセットを提供し、9つの地域にわたる182の都市について、スマートシティ支出額を示します。ITベンダー各社はこのSpending Guideを利用して、急成長するスマートシティ市場に関する知見と、5年の予測期間における展望を得ることができます。

IDC Spending Guideについて

IDC Spending Guideは、主要テクノロジー市場の動向を、地域、産業、ユースケース、バイヤー、テクノロジーの観点から詳細に分析しています。IDC Spending Guideは、ピボットテーブル形式またはカスタムクエリツールによるセルフサービス型サービスとして提供され、ユーザーはデータのトレンドや関係を見ることによって、各市場に関する有益な情報を簡単に抽出することができます。

※本プレスリリースは2019年6月25日の米国IDC (マサチューセッツ州 フラミンガム) による発表の日本語訳をベースとしています。

About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com.

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
jp-press@idcjapan.co.jp
+81-3-3556-4768